

▼がんね白滝公園をバックに山本さん「地域の婦人部の皆さんが花壇の手入れをしています」



「美和は広いですがね。過疎化も進んでいます。せめてこの辺り、町の東の玄関口だけでもきれいに整備をしておいたら、人も来てくれるんじゃないかと思っていますよ」

「桜の木を植えたら、地元に住んでいる人たちに自分の名前を付けてもらっているんです。もう昔に亡くなった人の名前の木も生き続けていますよ。自分の名前が付いた木は愛着も湧くでしょう？ 皆さんかわいがってくれていますよ」山本さんを中心とする地元の人びとの力によって、美和町のおもてなし体制はいつでも万全です。



▲美和町の「白滝山」を訪れる登山客が歩きやすいように看板を設置



▲公園の一角にはラジコンコースがあり、週末には大会も行われる

山口県と広島県の境を流れる小瀬川。その中流に位置する弥栄は、森と湖の壮大な自然が広がり、岩国市のレジャースポットとしても知られている地域です。春には満開の桜の木が辺り一面をピンク色に染め、訪れた花見客にうららかな春のひとときを提供しています。

0本植えました。この周辺では全部で約3600本くらいになったかなあ。1万本を目指していますよ」山本勝義さんは笑いながら話します。

山本さんは、地元美和町の環境整備組合や弥栄湖をはぐくむ会、芸防漁業協同組合などさまざまな組織のトップに立ち、長い間、美和町の環境を見つめてきました。地域の人も「美和のこ

となら山本さんが一番よく知つとるよ」と話すほです。



まち 思う気持ちを

原動力に

Vol.74

山本 勝義さん
(美和町在住)

環境整備組合、弥栄湖をはぐくむ会、芸防漁業協同組合などの長として、美和町の環境整備・美化などに精力的に取り組んでいる。

